

459

納本

最近のソヴェト・ロシア

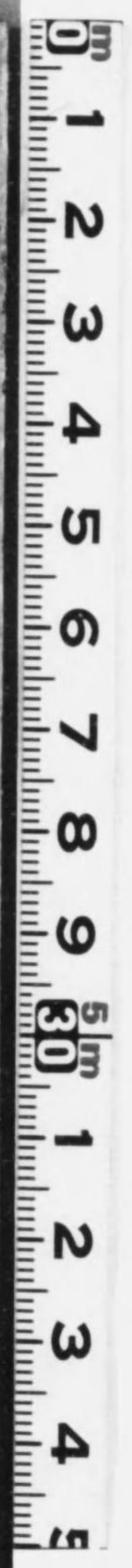
—陸軍大佐 秦彦三郎氏講演—

東京商工會議所

特 255

241 資料第四〇號

昭和十一年九月



始



特 255
241

本編は陸軍省新聞班長陸軍大佐秦彦三郎氏が七月十四日
本所に於て實業教育振興會席上試みられたる講演を同氏
の校閲を得て茲に印刷に附したものである

昭和十一年九月

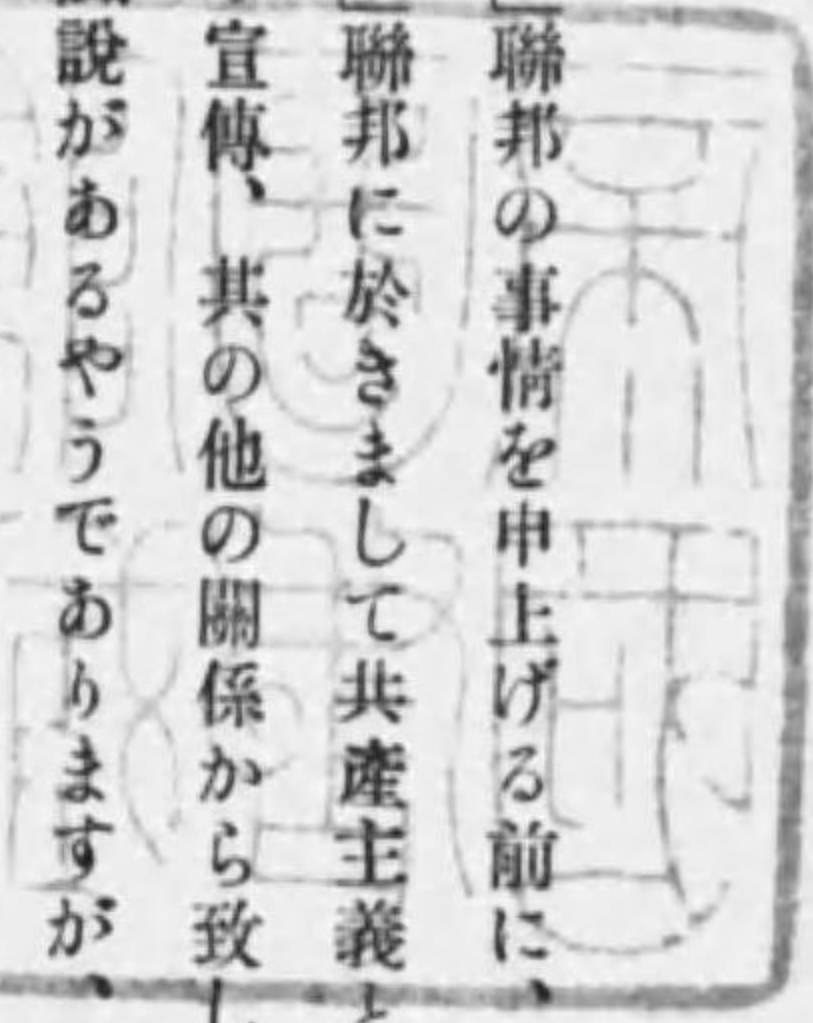
東京商工會議所

最近のソヴェト・ロシヤ

— 陸軍大佐 秦彦三郎氏講演 —

東京商工會議所

「ソ」聯邦の事情を申上げる前に、先づ説明申上げて置かねばならぬことがあります。第一は、現在の「ソ」聯邦に於きまして共産主義と云ふものは、何も實施されて居ないと云ふことであります。從來各種の宣傳、其の他の關係から致しまして「ソ」聯邦は共産主義をやつて居るとか、或は止めたとか色々々の風説があるやうであります。現在の「ソ」聯邦に於ては全然共産主義は行はれて居りません。これは私一人の獨斷的の判斷ではありません。現に「ソ」聯邦に於ても『共産主義と云ふものは、我々の理想である。其の理想に到着する一階梯として、現在社會主義的經濟機構、政治機構の完成に努めて居るのである。若し之を完成したならば、更に進んで共産主義に進むのである』と云ふことを云つて居ります。亦事實私が歸りましてから發表になりました憲法の改正草案に於きまして『各個人はその勞働の質と量により、それに應ずる所の報酬を受けるのだ』と云ふことを明記致して居ります。共産主義のむづかしい學理は扱て措き、一番大きな特色とする所は分配の公平でなくちやならんと思ふ



のでありますが、先程申上げた如く、現在のソ聯に於ては分配の公平と云ふことは何處を探してもないのであります。従つて上はスターリンから下は一農民、労働者に至りますまで、所謂サラリーマン化したのであります。即ち其の能力、職務に應じまして各人の俸給も全部違つて居りまして、其處に生活の公平と云ふものは一つもないのであります。

唯我々の社會と非常に違つて居る所は個人資本の活動と云ふものが如何なる形式に於きましても、又如何なる方法に於きましても許されて居りません。是だけは非常に變つて居るのであります。即ち銀行に致しましても、會社に致しましても經營のやり方に於きましては我々と少しも變りはないのであります。言葉を換へて申しますれば、各會社は會社で、銀行は銀行で、工場は工場で他の國と同じやうに働いて居ります。唯本質的に申しますれば、銀行には銀行の株主なるものが一人もない。會社にも株主と云ふものがない。工場にも工場の株主と云ふものが一人もないと云ふことが非常な差異であります。夫れ以外に於きましては、我々の社會に於けると何等の變りはないのでありまして、其の點ははつきり皆さんに御注意を願ひたいと思ひます。

其の次は「ソ」聯邦現在の制度と云ふものが、非常に力強い制度であると云ふことであります。それは國家の總ての權力を政府が握つて居る。又更に總ての資源、總ての生産手段と云ふものも政府が握つて居ります。即ち政府は金力と權力の二つを握つて居る。適切な言葉ではないかも知れないが

「ソ」聯邦には資本家なるものは政府以外に一人もないと云ふことになつて居ります。従つて政府の力と云ふものが非常に強いのでありまして、恐らく是は有史以來今まで斯くの如き權力の強い政府はなかつたやうに考へるのであります。

而して政府が建設事業をやるに當りましては所謂重點主義でありまして、自分の必要とする點、其處に國家の全權力、全資本、全生産手段と云ふものを集中致します。かくして我々の言葉に申しますならば、一つ一つの物を逐次片附けて行く。従つて幾ら革命で破壊され國內戦で惱まされるに致しましても、面積に於て世界の六分の一を占め、而も資源に於ては殆んどないものはないと云ふ豊富さを持つて居る「ソ」聯邦のことでありまして、此の國家の重點主義を實行して居る限りは、常に脅威的な進歩を行く次第であります。

これに反しまして政府の力を入れてない方面を見ますと、丁度現在東京の日本橋附近に震災直後のバラックが其の儘残つて居る様に、さう云ふ所が多くさんあるのであります。

斯くの如き所謂強力なる統制經濟になりますと、我々個人の財政と國家の經濟との間に重大なる差異を認めないのであります。即ち政府から見ますと一億數千人の人口は自分の家族であり、居候と云ふ形になるのであります。従つて此の一億數千の家族に食ひたいものを食はし、飲みたいものを飲ますやうに行つたならば、もう一家の經濟が成立しないと同時に「ソ」聯邦其のものゝ經濟が成立

しないことは明瞭であります。而も現在非常な勢を以て建設事業をやつて居る以上、此の家族居候と云ふものには成るべく節約させて其の無駄を省き、余剰を擧げて國家の建設事業にふり向けなければならんと云ふことになります。それには人民の生活、個人の生活と云ふものを犠牲に供して政府の建設事業をやらなくちやならんと云ふ結論になるのであります。又事實「ソ」聯邦は之を強行して今日に至つたのであります。

併しながら先程申上げました如く、現在の政府が所謂獨裁的政治機構、經濟機構を完成したと云ふのも極く最近のことでありまして、革命後十何年と云ふものは決して斯くは出来て居なかつたのであります。それは何故であつたかと申しますと、此の革命と同時に總ての資本家、所謂今日の言葉で言へば、財閥其の他の者を叩き出しまして、さうして銀行、會社、工場と云ふものは最初から政府の統制下に服して居つたのであります。所が一方農民の方を考へて見ますと、革命と同時に貴族、地主と云ふものを叩き出しまして土地の國有を斷行致しましたが、其の上に芽生えて居ります所の一億數千、即ち人口の九割以上を占めて居る所の農民に對し社會主義化を斷行することが出来なかつたのであります。是等の一億數千人の農民に對しては土地を分配し、其の所有は許しませんが使用を許可して小さい百姓を認めたのであります。是が十年以上も政府を苦しませた唯一の原因でありまして、爾來此の農村政策と云ふものが終始政府の政策を妨げて來たのであります。之を少し詳しく申上げますれば、

私から申上げますまでもなく自作農は、即ち資本主義の經濟機構と云ふべきであります。従つて資本主義的に發達し政府の政策と全然反對の方向に進むことになるのであります。而も政府と致しましては農業國である關係上、農産品を手に入れ之を勞働者に食はし、亦外國に輸出しなければならん状態に在つたのであります。所が此の農産品なるものが全部農民、所謂自作農の手に在つたのであります。そこで之を取上げてやらなくちやならんが、之を取上げる手段に就きまして非常に苦慮したのであります。或時は公定價格で之を買ひ上げたのであるが、特に工業發展の過程に於きましては、農民の満足するものを悉く農村に送ることが出来なかつた。従つて工業生産品と農業生産品との間に非常な開きが生じた。それで農民はなか／＼賣惜みをするに云ふやうなことで、政府には思ふだけのものは集まつて來ない。或時は租稅的に之を取上げ、甚しい場合になりなすといふ徴發をいたしました。即ち一九二四、五年頃は随分やつたのであります。さう致しますと農民は政府に對して消極的抵抗を始め、即ち收穫物を隱匿する程度ならばまだ宜いのであります。各人の作付面積をも減らしたのである。それでは政府が必要な農産物を得ることが出來ず、さうかと云つて若し之を放任すると資本主義的に發達して政府の政策と相反する。そんな譯で革命後十年間と云ふものは政府は彈壓、懷柔の兩政策を交互にやつて來たのであります。併し農産品は一九二八年までは完全に政府の統制下に入らなかつたのであります。

所が愈々一九二八年の後半期になりますと、共産黨の内訌もトロツキー一派の放逐により一段落を告げ、愈々スターリンの獨裁政治の色彩が深まつて來たのであります。同時に第一次五ヶ年計畫をやることになりました。其の時に私は歸つて來たのでありますが、當時の「ソ」聯邦に於てあゝ云ふ計畫が出来るとはどうしても想像出来なかつたのであります。併し「ソ」聯邦は此の第一次五ヶ年計畫はどうしても斷行しなくちやならん。而も其の計畫を初め——御承知の如く重工業に重點を向けて居つたのでありますから——總ての器材と云ふものは外國から買はなくちやならんが、是等の決濟は農産國でありますから農産品でやるより外ない。所が先程申上げた如く農産品は政府の統制下に服しない農民の掌中であり、どうしても政府の思ふやうに集まつて來なかつたのであります。そこで政府は所謂御承知の「コルホーズ」農業の集團經營を致しまして、僅か一年乃至二年の間に全農民の九割近くもコルホーズ組織に變へたのであります。是は非常な強行政策でありまして農民に相當の反感を買つたのであります。兎も角コルホーズの組織に依りまして、農産品は政府の統制下に確實に入つて來ることになつたのであります。此のコルホーズ組織なるものは何と申しませうか、是を一言にして申しますと農村の工場化であります。即ち今まで農民は自作經營に依つて總てのことをやつて居りましたが、此のコルホーズの組織が強化されるに従つて各農民は自分で自作經營することが許されなくなつた。而して此のコルホーズの農民は一種の日傭取りとなつてしまつたのであります。従つて是等の百姓は

月給を貰ひ、出來上つた農産品は自分の勝手に處理することが出来なくなつた。斯くの如くコルホーズの農産品は全部政府の統制下に服することになつたのであります。是が第一次五ヶ年計畫に於ける政府の政策として非常な成功でありまして、其の結果政府は全部の農産品を收め、其の中幾分かを農民や工場労働者に與へ、他の幾分かを國外へ輸出すると云ふ計畫がすつかり出來るやうになりました。而も彼の膨大なる所の第一次五ヶ年計畫を實行する上に於きましては先程申上げました如く、此の農民、労働者に食ひたいだけ食はしたならばどうすることも出来なくなるので、御承知の切符制度に依りまして先づ食料品の制限をやり、さうして國民の消費量と云ふものを最少限度に限定致しまして、其の他を全部外國に輸出し、而して建設事業に集中したのであります。

其の結果御承知の第一次五ヶ年計畫なるものは大體自分の思ふやうに出來ましたが、當時に於きまする國民の個人の生活と云ふものは非常に悲惨なものであります。私は先程申上げました如く、第一次五ヶ年計畫が始まつた翌年の春歸つて參りました。其の當時に於きましてはそれ以前と餘り大した差異を認めずして歸つたのであります。それから後一年ばかりたちましてポーランドの方に赴任するやうになつて途中モスコに參りました。私が停車場に着きました時に第一に感じたことは、國民の生活が非常に悪くなつたと云ふことであつた。モスコ市に於て今まで自分が始終物を買つてゐた店は大方閉鎖され、商店に入りましても品物と云ふものは殆んどない。食料品店に行きましても、先

程申上げたやうに切符以外に賣つてくれない。又一般政府の建設事業と云ふものは、ちよつと見た所少し位は良くなつて居りましたが大して目につかない。一體是はどう云ふことになつて來たのだらうかと云ふやうな感じに打たれました。彼の地に二年半ばかり居りまして内地に歸ることになりましたから、再びロシアに入りまして一ヶ月半程各地を旅行して見ますと、是は又二年ばかり前に通つた時とは全然様子が違つて居りまして、政府の建設事業と云ふものは各所に芽をふいて居つた。事實大きい工場があつちにもこつちにもどん／＼出來て、二年半ばかりの間に斯うも大きな仕事をしたものと實は私も吃驚致しました。寧ろ恐しいやうな感じが致しました。所が一方國民の生活を見て参りますと、是はどん底に陥つて居ります。先程申上げたやうに食物は制限されて、所謂食料品なども食ふだけで贅澤が出來ない。まして着物と云ふものは殆んど持たない。常着以外には何も無いといふ有様でありまして、果して斯う云ふやうな状態で以て幾何現政府が續くだらうかと疑ふ位で、前の反面に於きましては非常に悲觀を持つて歸つた次第でございます。

扱て歸朝しまして十ヶ月ばかり内地に居りまして、又今度行つた譯であります。今度行つて見ますと又様子が違つて居りまして、一言に申せば非常に好くなつてゐた。僅か一ケ年間にどうして斯う云ふやうに國民の生活が良くなつたかと云ふ感じが致しました。爾來二年半、國民の生活水準が眼に見えまして、日に月にどん／＼上昇して來るのを見て歸りました。是は何故であつたかと申しますと、

第一次五ヶ年計畫の間と云ふものは非常に苦しいことであることは當然であるが、是に對して政府と致しましては『第一次五ヶ年計畫には重工業に重點を置いたのだ、國民の生活は苦しからうが、第二次に入つたら國民の生活を良くする』と云ふ風に云つてどん／＼引つ張つて來た關係もありますし、亦先程申上げた如く、人民の生活自體も殆んどどん底に逢着して居り、その休養の必要もあり旁々又一方に於きまして、第一次五ヶ年計畫に依つて大體の欲するものを買つてしまひ、是以上強行政策を實行して外國から物を買ふ必要がなく、又事實減つて來たのであります。さう云ふやうな各種の原因からして第二次五ヶ年計畫になりますと、兎も角「ソ」聯邦で出來る所の農産品と云ふものは、大部分之を農民に食はせると云ふことに政策が變つたのであります。元來農業國であります「ソ」聯邦に於て、食料品が足りないと言ふ譯はないのであります。食物が各人の欲するだけのものを食べらるやうになると、既に切符制度の必要がなくなりましたので之を廢し、亦農民も先づ食ふ方に於ては困難を感じないやうになつて参りました。

而して第二次五ヶ年計畫に入りますや、約束の如く國家の重點と云ふものを輕工業に置きました關係上着るものも出來れば、欲しいものも出來る。コップも出來れば、藥罐も出來ると云ふやうに日用品が段々殖へて参りました。其の結果先程申上げた如く、人民の生活は日に月に良くなつて來ると云ふやうな状態になつたのであります。要するに政府が此の獨裁的政治經濟機構を、その掌中に收

めたと云ふのは極く最近のことでございます。此の結果工業生産品と云ふものは殖へて行き、農産品は自分の統制下に服して居ると云ふやうな關係から、政府の収入と云ふものは益々増加して参りました。従つて各種の建設事業や軍備の方に驚異的に金を使ふことが出来るかと云ふことになつたのであります。

其の次に行政組織方面に於きまして二つの問題が最近發見されます。其の一つは各種の行政機構の改革であり、他の一つは憲法の改正であります。從來御承知の如くソヴェート政治と云ふものは、理論上から云へば非常にデモクラシーのものでありまして、總て會議制度に依つて決定すると云ふのが原則であります。各省に就て申しますれば、大臣、次官、局長を以て會議をし、その會議に於て多數決で決定する。工場には工場長、技師、労働者の一部と云ふものを加へて、一つの會議を開いて總てを決定する。大體斯う云ふやうな形式になつて居る譯なのであります。斯くの如き會議制度に依り此の重大なる建設事業をやつたのであります。所が昨年になりましたこの會議制度と云ふものを全部廢止致しまして、總ての命令實施と云ふものは長官に一元化されることになつたのであります。現在に於きましては、例へば陸軍省に於きましては陸軍大臣、外務省に於ては外務大臣の命令を以て、總てを決定して行くと云ふ點に於て、獨裁的の行政機構と云ふものが先づ完成された譯であります。

其の次には憲法の改正問題であります。是は非常に興味を以て皆見て居りますが、私は内地に歸りましたその内容を見まして實はがっかりしたのであります。夫れは何等の改正もやつて居ない。唯今日まで舊憲法を逐次改正をして居つたのを成文化したと云ふ程度以外には何も新しくはないのであります。唯一つ大きなこゝに改正を致したのは、從來政權參與の道は労働者に厚く農民に薄かつたのであります。先程申上げました如く農民は總てコルホーズになつり、さうして政府の事業に直接參畫すると云ふことになりましたから、こゝに農民と労働者に區別を設けることが出来なくなりました。そこで今度の憲法と云ふものは労働者と農民とが平等の權利を持つて政權に參與すると云ふやうに成つたことが一番大きな變り方と思ひます。唯是に附隨しまして新しい選舉法なんかも改正致しましたが、此の選舉法なんかも極めて眉唾ものでありまして、普通平等と申しますと、日本の新聞紙にはデモクラシーの如く書いてありますが、其の次の條文を見ますと、候補者の推薦する權利と云ふものは總て共產主義労働組合黨が握つて居るのでありまして、従つて官選の議員である。是は「ソ」聯邦と致しましては已むを得んことでありまして、若し之をやらなければ所謂一黨主義の政治と云ふものは出来得ないのであります。これ迄は候補者の指名を致しまして、さうして「それ」に不賛成の者は立て」と云ふやうな式にやつて居つたのを止めて、投票すると云ふ風に形が變つたゞけでありまして、決してデモクラシーでも何でもないと思つて居ります。又此の點は現在の「ソ」聯邦の政治機構を保持する上に於きまして、どうしても見逃すことの出来ない一つの限界と思つて居ります。

尙先程申すのを忘れましたが、昨年大規模に實施致しました商業の公營化であります。是は總ての個人商人と云ふものを全廢致しまして、國家の一手に依つて分配々給と云ふことを行ふのであります。何しろあの當時に於ては大きな仕事をする事が出来ません。従つて此の結果は分配に圓滿を缺くと云ふことになりましたので、已むを得ず個人商人と云ふものを許しました。結局個人商人を許しますと配給の圓滿と云ふことはうまく行くものであります。是も亦自作農と同様に資本主義の經濟機構でありますから、動くもすれば政府の反對の方向に進み易いのであります。それ故常に彈壓して來たがうまく行かぬので長い間農村と同様に政策を變更して來たのであります。併し是も逐次整理が出来まして、昨年度に於きましては國內商業省の下に總ての商業、組合等を一元化することに成功しました。現在に於きましては機械生産品、工業生産品、是に關する商業機關と云ふものは全部政府の統制下に入つた譯でありまして、各方面から名實共に獨裁機構を成立することが出来たのであります。

次いで鐵道方面のことではありますが、斯くの如き社會主義的の經濟機構を完成する上に於きまして、一番困つて居るもの、一つは鐵道であります。即ち鐵道事業をやる上に於て最も大事なことは、人體に於ける血管と同様に輸送業務と云ふことが敏活に行かなければうまく行かないのであります。所が從來「ソ」聯邦の鐵道はどうも政府の要求したゞけの能力を發揮出来ない、極めて幼稚なものであると云はれて居つたのであります。所が愈々新しい經濟機構、政治機構の完成するに連れて、全く之を改善

するの必要に置かれて來たのであります。かくして昨年の春「カガノウイツチ」が第一線に飛び出し大臣になりました、事業の改善と云ふことに努力を拂つたのであります。其の結果昨年の末に於きまして、僅かの間に相當な成績を上げました。丁度去年の五月でありましたか、彼が大臣になりますと、一方に於きましては非常に峻嚴なる法規を設けまして鐵道従業員の風紀を振作し、他方に於きましては各種の工場を迅速に作りまして、運轉材料の保守、修理と云ふ方面に非常に心を拂つたのであります。其の最初の時期に於て彼のやつたことを申しますと、丁度去年の六月から「ソ」聯邦の全鐵道に於きまして、旅客列車と云ふものは四分の一位に減りました。これに依り人民が旅行するのに非常に困難となつた譯であります。此の爲めに其の二十五パーセントは全部貨物列車に變へると云ふやうな亂暴なことをやりました。又非常に従業員を酷使し、あらゆる強行政策を採りました爲めに、モスコ、レニングラード等の驛長と従業員三名が自殺したと云ふやうな亂暴な時代もありました。旅客列車はちつとも動かない。その運行も貨物列車に對しては優先權を與へて、旅客列車は到る所貨物列車の爲めに待たされると云ふやうな非常に亂暴なことをやりました。併し彼が斯う云ふ様な亂暴な命令をやつたお蔭で、昨年の五月頃に一晝夜の積載能力が五萬五千噸位であつたものが、去年の八月には八萬五千噸に増加し、更に今年には愈々十萬噸までやると云ふやうな僅か一年間に非常な進歩をしました。其の代り随分無理がありました。

次は民心安定問題であります。是は各方面から御質問を受けるのでありますが、大體を申上げますと、民心は最近に於きましては安定をして参りました。是は思想方面から申しますと、革命以前の人は現政府となかく一致協力すると云ふことは出来ません。夫れと申しますのは、大概の人は革命當時は大なり小なりブルジョアであつたので、帝政時代の政府が宜かつたと云ふことを蔭で云つて居ります。併し現今の青年は共產主義の教育を受け、社會の情況と云ふものは殆んど政府の宣傳だけで實情を知らない關係から、政府の宣傳に依つて我々の政府と云ふものは世界中で一番意識的によい政治體系を持つて居るのだと云ふ考へを持つやうになつて居ります。最近になりましたは大學生の間に政治を議論する人が殖へて参りました。大學に於きましては、マルクス共產主義を教育して居りますが、政府はそれと全然違つたことをやつて居りますので、所謂共產主義再運動と云ふものがあるのであります。政府と致しましてはトロツキー一派の再建運動者を彈壓すると同時に、一方又人民に對しては共產主義と云ふものは我々の理想であり、其の理想に到着する一階梯として現在の如き政策をやつて居ると云ふことで宥めて居ります。併し先程申しました如く、第一次五ヶ年計畫と云ふものは實際突破したが殆んど自分の満足出来ない、唯食物が食べられる程度に於て政府に追隨して來た。所が第二次五ヶ年計畫になりますと漸次兎も角好くなり、政府の云つて居ることも嘘言でなかつたと云ふことが分つて、大體に於て政府を信頼して來るやうになりました。政府に於ても一億數千人の人民を指導す

る爲め共產黨と云ふものに非常に重きを置いて居ります。一般民衆も彼等は本當に好くやる、自分を忘れて多くの人の爲めに盡して呉れるのだと云ふ風に、政府に對して感謝の念を拂つて居りますから、大體に於きまして最近民心は安定致しました。

次は軍備の方であります。先刻申上げましたやうに軍備に關する限りは非常に成功もし、亦非常な長足なる進歩をしたと申して差支ないと思ふのであります。特に最近に於きましては國際情勢の急迫と云ふことから、一層軍部の充實と云ふことを強調致されて來ました。之を政治的に説明申上げますと、從來「ソ」聯邦に於きましては平素取入れて居ります共產黨の理想と致します民兵制度で國境の大半を占むる東洋方面の軍備を充實した。併し過去十數年の經驗と最近に於ける國際情勢の急迫と云ふやうなことから、民兵第一主義を以て「ソ」聯邦の國防を擔任させると云ふことは極めて困難且危険であると云ふ結論に達し、こゝに正規兵を以つて是に代らしめて來たのであります。又飛行機に於きましては四年前には五百六十臺でありましたが、昨年度は非常に發達しまして五千臺に激増致しました。この點につき我々としては誠に敬服に堪へない次第であります。是は最近彼等は懸命に軍事に力を入れて居ることを極めて明瞭に證據立て居るものであります。彼等の將來戰に對する方針からは割出されて居ることでありませぬ。彼等は將來の戰爭と云ふものは決して第一線に依て勝敗を決することは不可能である。第一線から首府に至る地帯は總て戰場であり、寧ろ戰爭は首府を中

心とする後方に退いて之を攪亂して國の中樞を破壊し、人民の戰爭意志を挫折させると共に、更に進んで思想線に導き全國民の階級争闘をやらして自ら國を崩壊せしめると云ふ考へであります。従つて一旦緩急の場合には正規兵を中心にしてやつて行かうと云ふ状態であります。

併し一方に於きまして斯の如き急激な軍備の膨脹から、先づ軍事費と云ふものが非常に増加して、僅三四年ばかり前は十三億乃至十五億位の軍事費であつたのが一昨年は一躍して五十億に増加致し、更に昨年度は一層増加致しまして八十億となり、更に本年度は躍進又躍進致し百四十八億と云ふ豫算になりました。

尙ほ是等の財源を如何にして彼等は求めるかと云ふ點に付て御質問があつたやうであります。本年度豫算は七百七十億留でありまして、政府の収入の大部分は消費税であり、是が約六百二十億位であります。税に於て一番多いのは農産品でありまして、タバコ、食料品、石油、綿等總てのものに對して消費税をかけて居ります。従つて是は先程の計數に依りまして人口一億五千萬人に割當てますと、一人の消費税の負擔は平均四百ルーブルになる譯であります。其の結果可なり庶民階級は苦しいと云ふことが是で分るのであります。

尙ほ軍事に付て申上げたいことは、最近に於きまして階級制度と云ふものが復活しましたことである。従來「ソ」聯邦では少佐、中佐と云ふやうな階級がなかつたのでありますが、革命と同時に階級打破を叫んだ關係上、軍隊だけに階級を設けるといふ譯にはゆかないと云つて居つたのでありますが、結局軍隊だけはどうも階級がないことは適當でないと云ふことで、昨年の秋から階級制度を復活致しまして、現在に於きましては元師から少尉に至るまで總て階級が出来、又其の階級に應じて俸給を支給することになりました。其の關係については我々と變つて居りません。

先程申上げましたやうに、全般の兵力を増加致しましたが特に極東に於ける兵力を増加して參りました。滿洲事變當時は兵力に於きましては、僅に七萬内外であつたのが、最近には二十四萬人を數へるやうになりました。本年度からは國境に於て戰時編成を取るやうになりまして、私が歸ります時に聞いて居りましたのでは、或は約三十萬人に近くなるのではないかと思ひます。従つて斯くの如く兵力が殖へて參りますと、一人の指揮官で極東を指揮する統率すると云ふことは非常にむづかしくなりましたので、去年の秋には特別極東軍を更にバイカル湖の所を東西二つに區分しまして、西をザ、バイカル軍、東を特別極東軍としました。極東軍はブラゴベシチエンスク、ハバロフスク、ニコリスクを中心致しまして、大體滿洲國に對する戰略配備を採つたのであります。特に我々の注意すべきものはニコリスク、ウラジボストツク方面の大きな要塞であります。是は非常に大きな防備地帯であります。従來はウラジボの要塞は堅固な陸地要塞を採て居つたのであります。最近に致りまして西方一帯に對して構築陣地を拵へ、一年ばかり前に完成致しました。又ウラジボストツクに對しても、

盛んに防禦工事をやつて居ります。一方に於きましては、日本に對する脅威、つまりニコリスク附近にきた飛行根據地を設けまして、爆撃機の主力を置いて居ります。此處は日本々土に向つて僅か二時間半の時間を以て到達し得る地點であります。又他方に於きましてウラジボストツクには潜水艦を六十隻ばかり常駐せしめて、是に依つて我が海陸の聯絡點を遮斷すると云ふ積りであらうと思ひます。先般歸る時に外務次官に挨拶に参りまして色々ウラジボストツクを致しましたが、其の時に、「君が内地へ歸つたならば、不可侵條約でも宣傳してくれ」と云ふ話がありました。其の時に自分は「俺は軍人だからウラジボストツクにあなたに物を云ふが、兎に角日本の本土と大陸との聯絡と云ふことは本當に日本の生命線だ。あなたの所と戦争をして此の大陸と本土との間の聯絡點が切れた時に、日本は崩壊するに決まつて居る。誰が見てもさうなつて居る。所があなたの方のやり方を見て居ると、丁度ウラジボストツク、ニコリスクに潜水艦や飛行機根據地を持つて居るのは、結局聯絡點に於ける非常な脅威である。だから宜い加減のことを云つても、其の點を能く諒解してくれないと不可侵條約と云ふものは出来ない。亦出来る譯はない。だからお互に快くさう云ふ所を除いて氣持好くなれば、それで事が終るのではないか」と云つたのであります。

斯の如く兵力が増加致しますと自然「ソ」聯邦と致しましては、平時極東に於ける所の自給自足と云ふことを考へなくちやならんやうになつて來た譯であります。既に數年前から極東に於ける農業の

開發と云ふことに重きを置き、極東にコルホーズを組織しユダヤ人の共產團を態々作つて行くやうな方法を講じました。從來滿洲の食料品が非常に安いものでありますから、大體滿洲の食料品を食べて居つたのであります。自然自らの農業開發と云ふものが遅れて居りました。今一九三二年、三五年、並びに昨年度の農産物の收穫高を比較致しますと、十度倍に迄増加して來ました。従つて食料品に關する限り自給自足が出来るのは近い將來だと思ひます。

それから交通網に於きましては從來チタからアムール、ハバロフスクを通り、ニコリスクまでは單線であつたのであります。北滿鐵道を買却すると同時に復線工事を始めまして、ハバロフスクまでは全部復線工事が完成致しました。私はニコリスクで汽車の窓から覗いたのであります。全國の労働者が入りまして非常に努力してやつて居ります。この様子では今年の秋までには完成することは明瞭であります。さう致しますとウラジボホからモスコに至るまでの復線工事が初めて完成を見る譯であります。従来よりも一層輸送力は増加することになると思ひます。

バム鐵道は、是は何處まで進んで居るか申上げることが出来ませんが、情報に依りますとアルダクまで進んで居ると云はれてつて居ります。此の分岐點で停車致しましたが一面に山の上に枕木を積んであり、それも生木でありました。恐らく此の方面の材料に使ふのだらうと思ひます。愈々是が完成致しますと、其の終點ソウガリンに軍港を造ることになつて居ります。結局「ソ」聯邦は極東にウラジ

ホとソウガリンと二つの根據地を持つことになるのであります。

道路に致しまつてもウラジホからハバロフスクまではアスファルトの大きな自動車道路が昨年秋完成致しました。汽車の窓から見ますと汽車に併行して立派なものが出来て居ります。

工業方面に於きましては最近ブレヤ川に鐵、石炭等が発見され、此處に極東に於ける鑛業地帯を作らうと云ふので、ブレヤ建設と云ふものに着手致しました。又コムモリスクに軍需工業を造る爲めの建設を盛んにやつて居ります。それからハバロフスクの重要工場も完成致しました。所謂極東に於ける軍需工業を此處に建設するのだらうと考へます。

外交の方面に於きまして、二、二六事件に日本の足下を見まして、三月頃に外蒙との間に條約を締結し之を公表致しました。従來外蒙は支那の領土であると云ふ平和主義を宣傳した關係上、外蒙は自分の配下であると云ふことは申して居りませんでした。愈々今度は條約を結び恰も日本の滿洲國に對すると同様の権利を持ちまして、従來よりも一層總ての問題を此處で行ふ所の形勢を作つた譯であります。

其の他對外政策に就きましてはもう時間がありませんから省略致しますが、唯一つ最近の狀勢から申上げて置かうと思ひますが、第三インターナショナルの決議に依つて、人民戦線と云ふものは認めると云ふことになりました。御承知の如く昨年八月第三インターナショナルの決議により「ソ」聯邦の

對外政策は結局西は對獨、東は對日、この二つを擊破することでありませす。従來これは第二インターナショナルとは仲が悪い。第二インターナショナルを叩きつぶすと云ふことが唯一の目的でありましたが、八月に於きましてその第二インターとの對立關係を清算し、さうして第二インターナショナルと妥協しこれを支持して、苟くも反帝國主義と云ふものは何でも構はないから統一戦線を構成すると云ふことを決議したのであります。爾來此の決議に基きまして第二インターナショナルとの妥協が出来て参りました。現にベルギーに於きまして最近一種の人民戦線と云ふものが出来て参りました。其の他各地に於て妥協氣分が濃厚になつて來たのであります。先月になりまして日本に於きまして、人民戦線問題が頭を出して來たのであります。總てそれ等は是に基いてやつて居るのであります。最近我國の無産黨に於ても人民戦線と云ふ言葉が強くなつて参りました。是は結局第三インターナショナルが自ら活動すると云ふことはどうしても出来ない、従つて相當の勢力を以て居るものに天下を取らせ、次いで第三インターナショナルが是に代らうと云ふ作戰方針でありまして、而もそれが着々成功して居るやうに見受けられるのであります。此の點に就きましては對內的に考へましても、亦對外的に考へましても將來注意を要するものと考へて居ります。

查 調 工 商

號	標 題	實 費
六	商工審議會の議題に對する意見	(三五錢)
七	健康保險法改正意見並に參考資料	(六〇錢)
二〇	株式取引所限月問題に關する調査	(六〇錢)
二〇	中小商工業金融と我國金融機關の現狀	(三五錢)
二九	歐洲戰後本邦貿易の趨勢	(四〇錢)
三〇	配當課税問題に關する參考資料	(三〇錢)
三一	國民負擔軽減に關する參考資料	(一〇錢)
三四	不正競争の取締に關する調査	(四〇錢)
三六	我國に於ける生産並販賣の統制現狀	(二五錢)
三七	中華民國新舊關稅率對照表	(二五錢)
三八	解雇手當に關する調査	(二〇錢)
三九	最近世界海運狀況	(四〇錢)
四〇	賠償及職債支拂猶豫問題と世論	(二〇錢)
四一	英獨失業保險法とその實施現狀	(二〇錢)
四二	最近英國及獨逸の財政現狀	(三〇錢)
四三	獨逸兩國の爲替管理並資本逃避防止に關する法令	(七〇錢)
四四	金本位制停止後の英國財界	(三〇錢)
四五	各國爲替管理令	(一〇錢)
四六	購買組合の受くる寵遇と商工業者の蒙る壓迫	(一五錢)
四八	インフレーションに關する調査	(一五錢)
四九	第一卷(埃國諸産業に及ぼしたるインフレーションの影響)	(二五錢)
五〇	第二卷(大戦中獨逸に於けるインフレーションの情勢)	(二五錢)
五一	第三卷(佛國のインフレーションとフラン貨の安定)	(六〇錢)
五二	第四卷(インフレーション時代に於ける利益配當の方法)	(一五錢)
五三	第五卷(貨幣價值下落期に於ける)	(一五錢)

號	標 題	實 費
五二	資金調達と價格決定の方法	(二〇錢)
五三	第六卷(假裝利益に對する課稅方法)	(三〇錢)
五四	第七卷(大戦後獨逸に於けるインフレーションの概観)	(二五錢)
五五	獨逸小賣商保護法及關係法規	(一〇錢)
五六	伊太利に於ける公衆販賣業並行商取締に關する法規	(二〇錢)
五七	英國植民地の織物輸入割當制	(七〇錢)
五八	新興産業に關する調査	(二五錢)
五九	輸出統制の改善問題	(一〇錢)
六〇	支那の經濟恐慌に關する調査	(三〇錢)
六一	第三卷(商工業)	(三〇錢)
六二	第一卷(東京地方に於ける商業組合の實情)	(二〇錢)
六三	第二卷(大阪及名古屋地方に於ける當業者の意見並に同地方に於ける組合の實情)	(二〇錢)
六四	最近米國の財政々策	(一五錢)
六五	支那前途に關する諸觀察	(二〇錢)
六六	第一卷(最近の金融事情)	(二〇錢)
六七	第二卷(北支農村織物工業と商人雇主制)	(二〇錢)
六八	第三卷(北支農村織物工業と商人雇主制)	(二〇錢)
六九	最近獨逸の財政々策	(一五錢)
七〇	歐洲諸國に於ける産業組合政策	(一〇錢)
七一	第一卷(英獨佛伊)	(一〇錢)
七二	第二卷(地洪チエツコ其他)	(一〇錢)
七三	商店法に關する調査	(一〇錢)
七四	各國統制經濟に關する調査	(一〇錢)
七五	第一卷 イタリーの統制經濟(一)	(一五錢)
七六	第二卷 イタリーの産業統制(二)	(一五錢)

(所議會當。すまし致布願費實はに方の望希御物行刊所當)
(要不料送)いさ下用利御を番一九七六一京東座口替振

料 資 化 理 合 業 産

號	標 題	實 費
一	獨逸に於ける合理化運動と獨逸産業合理化協會	(二〇錢)
二	商業標準化事業と其價值	(四〇錢)
三	流動作業に關する經驗	(五〇錢)
四	米國に於ける間接費の研究	(三〇錢)
五	木製包装の合理化	(三五錢)
六	郵便小包の包装及發送	(三五錢)
七	輸出取引の仕方	(三五錢)
八	事務所の騒音防止方法	(一〇錢)
九	厚紙包装の合理化	(三五錢)
一〇	包装用器具及び安全裝置	(三五錢)
一一	米國に於ける恩給制度の研究	(三〇錢)
一二	職長の資格	(三五錢)
一三	會社重役及幹部の職務	(三五錢)
一四	販賣員の訓練	(二五錢)
一五	中央配達制度による經費節約	(二五錢)
一六	産業上の適職選擇	(一〇錢)
一七	鍍力製及び金屬製包装の合理化	(三五錢)
一八	壓縮空氣設備の設計と運轉	(三五錢)
一九	製造業に於ける出費の統制	(二五錢)
二〇	經濟的水平運搬の原理	(二〇錢)
二一	手力車輛	(一〇錢)
二二	販賣配給費の計算方法	(一〇錢)
二三	生産豫算及び手許在高豫算	(二〇錢)

號	標 題	實 費
二二	團體的獎勵法と個人的獎勵法	(四〇錢)
二三	不景氣が勞働に及ぼす影響を最少にする方法	(三五錢)
二四	機械的動力傳達裝置	(二五錢)
二五	海上運送用包装	(五〇錢)
二六	給油の合理化	(五〇錢)
二七	貨銀支拂事務の管理	(四〇錢)
二八	顧客應待の訓練	(五〇錢)
二九	軌道に依らぬ小距離水平運搬	(四〇錢)
三〇	第三卷(機械的運轉の運搬車輛)	(四〇錢)
三一	最新自動車修繕工場	(四〇錢)
三二	機械の輸出販賣に就て	(四〇錢)
三三	住宅の熱消費の研究	(一〇錢)
三四	統一簿記—機械製造工場用—	(一〇錢)
三五	經濟性的計算方法	(三〇錢)
三六	營業用輕便運搬設備	(五〇錢)
三七	工程管理	(五〇錢)
三八	工場に於ける寸法の測定法	(五〇錢)
三九	特殊計算尺	(五〇錢)
四〇	卸賣商業に影響する經濟的諸要素	(二〇錢)
四一	小店舗の廣告法	(三〇錢)
四二	小店舗の整頓法	(三五錢)
四三	割當販賣法	(一〇錢)
四四	消費者の需要及利潤ある市場—	(一〇錢)
四五	連鎖店	(二〇錢)

(所議會當。すまし致布願費實はに方の望希御物行刊所當)
(要不料送)いさ下用利御を番一九七六一京東座口替振

338
862

東京商工會議所刊行 商工資料

- 一 人絹工業の近状 (佐羽太三郎講演) (十錢)
- 二 躍進する我國の羊毛工業 (楠本吉次郎講演) (五錢)
- 三 世界經濟叢報第一輯 (千錢)
- 四 シカゴ市に於ける交通統制の經過 (千錢)
- 五 我國莫大小工業の發展性 (十錢)
- 六 鉄鋼鐵器工業の進出 (五錢)
- 七 西藏の資源と邦品進出の可能 (多田等觀講演) (十錢)
- 八 海外雄飛日本陶磁器工業 (北地鐵次郎講演) (五錢)
- 九 朝鮮經濟事情に就いて (穂積眞六郎講演) (十錢)
- 一〇 最近の中南米經濟事情に就いて (首藤安人講演) (十錢)
- 一一 ベルシャの文化と經濟 (笠間果雄講演) (十錢)
- 一二 世界經濟叢報第二輯 (十五錢)
- 一三 米國ニューデイルの發展と貿易事情 (松本正雄講演) (十錢)
- 一四 最近 歐羅巴事情 (米田實講演) (十錢)
- 一五 最近露西亞の經濟事情 (川谷幸左衛門講演) (十錢)
- 一六 世界經濟叢報第四輯 (十五錢)
- 一七 我國輸出工業の優越性 (天野健雄講演) (十錢)

三個人 所寄 便覽 (千錢)

- 一 世界經濟叢報第五輯 (十五錢)
- 二 邦品に對する海外商業會議所の意見 (三五錢)
- 三 獨逸に於ける保證協會に就て (工藤昭四郎筆) (十錢)
- 四 日本財政の前途 (千錢)
- 五 日本財政の前途 (千錢)
- 六 現下の農村問題 (山崎達之輔講演) (十錢)
- 七 百貨店法の目標及効果 (平井泰太郎筆) (十錢)
- 八 最近のソウェット・ロシア (泰彦三郎講演) (十錢)
- 九 中小工業の將來性 (千錢)

定期刊行物

- 一 東京商工會議所刊行 (三十錢)
- 二 東京物價月報 (月刊) (十錢)
- 三 東京勞働賃銀調 (月刊) (送料二錢)
- 四 重要經濟統計月報 (月刊) (三十五錢)
- 五 世界經濟統計 (年四回) (二十五錢)
- 六 東京商工會議所統計年報 (昭和十年版) (二圓)
- 七 中華民國及滿洲國貿易統計表 (昭和十年版) (八十錢)
- 八 東京物價及賃銀統計 (昭和十年版) (五十錢)
- 九 List of Trade Enquiries (外國取引紹介通報) (五十錢)

其他の刊行物

- 一 商工年鑑 (昭和十年版) (改造社) (拾圓)
- 二 アメリカの新經濟政策と金融統制 (巖松堂) (二、五錢)
- 三 日滿支經濟問題講話 (巖松堂) (二、五錢)
- 四 支那經濟年報 (昭和十一年版) (改造社) (參圓)
- 五 世界景氣年報 (一九三六上半年) (改造社) (二、五錢)
- 六 貿易政策講座 (七十五錢)
- 七 珠算能力檢定試驗問題集 (森山書店) (自第一回至第七回) (四十三錢)

昭和十一年九月十八日印刷
昭和十一年九月廿二日發行

〔實費十錢〕

東京市麹町區丸の内三丁目十四番地
東京商工會議所
發行人 天野健雄
印刷人 篠倉政一
印刷所 第一印刷所
發行所 東京商工會議所
電話 三五一三八
九ノ内 六五・一〇七九
振替口座東京一六七九一番

終

9.19